

2020年 交換留学報告書

文学部 日本語日本文学科

3年 蓑田 綾乃

2020年1月末日。

中国を起源に世界中でコロナウイルスの感染が拡大し、私たちの日常は今までと大きく変わりました。先はまだまだ不透明で、不安なことも多いでしょう。できることなら、早く日常が取り戻せることを願います。

さて、少し長めの前置きとなりましたが、このような事態になるとは思っていなかった2月末。私は韓国の天安市に交換留学をするため、6割の希望と4割の不安を胸に日本を発ちました。

大学到着後、私たちが使用する女子寮には、ロシア・中国・カザフスタンからの留学生が入寮していました。最初の2週間は授業をすべてオンライン上で行われるという連絡を受けていたこともあり、韓国人の学生は1人もいませんでした。

そしてはじめたオンライン授業。祥明大では、Zoom、GoogleMeets、Youtubeなどを使用して授業を行っていました。私は留学生用の授業と日本文学科の専門授業を聴講しました。専門科目では、韓国語で書かれた論文を読み、韓国語の音声で解説を聴くという授業でしたが、頼れるクラスメイトが1人もいない中の聴講は辛かったです。自分が授業をしっかりと理解ができているのか確認できない不安と毎回出されるレポート課題に毎週嘆いていました。

6月には、前期試験がオンライン上で行われました。私はほとんど期末レポートだったので、いくつかの文献を読み漁りながら、取り組み、すべての科目で良い評価をいただくことができました。(評価が例年より甘くなっていたようですが…。)

そして7月。私以外の留学生はみんな帰国し、私は2学期が対面で行われることを期待し、韓国に残り、毎日単語や筆記など韓国語の学習をしながら過ごしていました。

結局、韓国でコロナ第二波が到来し、8月末、私は日本に帰ってきました。この決断をするまでに多くの方々に支えていただき、感謝してもしきれません。自分なりに現状を楽しもうと策を講じてみたものの、現実はそう甘くありませんでした。少し寂しさの残る留学生活でした。

日常編

ここでは、心機一転！私の一日のスケジュールを紹介します！

【1日のスケジュール】	
8:00	起床、ストレッチ
9:00～	朝食、準備
10:00	授業
12:00	昼食
13:00～	課題→ゆったりタイム
17:00～	筋トレ
	夕飯
	単語学習
24:00	就寝

毎日寮の中で過ごす日々で正直憂鬱に感じることも多かったのですが、そんな中で私がモチベーションを保てたのが、同室の高山さんと岡山から留学に来ていた留学生の存在です。彼女たちと共に過ごすことで、「よし、明日も頑張ろう」ということができました。友情の次に息抜きになったのが、おいしいご飯です。留学生生活を振り返ってみても写真フォルダの8割は食べ物の写真で埋め尽くされています。

韓国は何といっても、出前(ペダル)文化が発達しています。寮にチキンやチムタク(韓国版の肉じゃがみたいなもの)を注文したり、警戒レベルが引き下げられた時は外食をしにでかけたりしました。

4月には校内の桜の木の下で花見。5月上旬には、1泊2日のソウル旅行をしました。もちろんマスクと消毒液は必須です。それから、高山さんの誕生日パーティーもしました。彼女に秘密で計画し、日本にいる友人にも効力してもらい行った誕生日パーティーでしたが、すごく喜んでくれたので、やってよかったなと思いました。

寮生活に慣れてきてからは、他国の留学生とも交流するようになりました。日本とは異なった宗教上の制限や国のこと、家族のことなどお互い韓国語を用いて様々な話をしました。加えて、5月からはデザイン大学に通う韓国人学生が数名入寮してきました。そのうちの1人と親しくなり、今でも連絡を取り合っています。

夏休み1人になってからは、知り合いの学生と連絡を取り言語交換をしたり、寮のスタッフの方と交流したりと、自らアクションを起こして人とのつながりを作っていました。

あたたかい人たちばかりで、この人たちがいなかったら自分はここまでやってこれなかっただろうなと思います。私たち以外の留学生との出会い。職員さんとの出会い。近所のコンビニの店員さんや食堂のおばちゃんとの出会いは、わたしにとってかけがえのないも

のとなりました。

また、日本語文学科の先生方、助教授のファンさんも私たちを気遣ってくださり、何度かともにお食事をしました。たくさんお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



生活編

ここでは寮生活について3つお話ししたいと思います。

まず、寮の門限は11時です。大学生ですので、お酒を飲みに出かけることがあると思いますが、この時間を過ぎると朝の5時まで鍵が開きません。注意してください。ただし、申請をすれば1時に明けてもらうこともできます。

次に、寮の設備はほとんどが共用です。シャワーやトイレも共用で、お世辞にも綺麗とは言い難いため、潔癖症の方には向いていないかもしれません。

最後に、たまに生活リズムの違いから他の留学生とうまくいかないことがあると思います。そういう時には、寮の職員の方に一度相談してみましよう。とてもやさしい方々ばかりなので、きっと力になってくださいます。

まとめ

留学生活の序盤で、「多くの学生と同じ教室で授業を受け、意見を交わし、親しくなる」という私の目標は泡となって消え去りました。それでも限られた時間の中で出会えた人々との交流から得た人によって異なる価値観を知れたことや交流ができたことに後悔はありません。本来の目的が達成できたとは言えませんが、ここで出会った人々が私にとっての支えであり、感謝を伝えたい人々です。

『半年間ありがとう。必ずまた会おうね。』

今後留学をするみなさんが、多くの人と出会い、最高の留学生活を送ることができるように願っております。

これにて半年間の交換留学の報告とさせていただきます。留学期間中支えてくださった、端羽さんと崔先生にも大変お世話になりました。ありがとうございました。